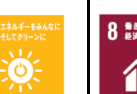


※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号)

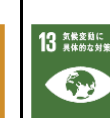
企業・団体名（ 中部電力株式会社 再生可能エネルギーカンパニー 飯田水力センター ）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件２）【R5.11.30変更】

項目 番号	カ テ ゴ リ	チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載） （【非該当】を選択した場合こちらには理由記載）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット） 関連項目																
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																							
1	人 権 ・ 労	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本 （必須）			・すべての人権が尊重される社会の実現に向けて、企業の社会的責任を果たすため「中部電力グループ人権基本方針」を掲げています。 ・新入社員から管理職までを対象に、人権啓発やハラスメント防止のための教育を実施するとともに、グループ会社の役員・管理職を対象とした講演会を開催しています。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本 （必須）			・すべての人権が尊重される社会の実現に向けて、企業の社会的責任を果たすため「中部電力グループ人権基本方針」を掲げています。 ・新入社員から管理職までを対象に、人権啓発やハラスメント防止のための教育を実施するとともに、グループ会社の役員・管理職を対象とした講演会を開催しています。 ・「職場におけるハラスメント防止のための指針」を定め、ハラスメントの相談窓口を社内外に設置しています。								8.5 8.8							16.1		
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本 （必須）			・「従業員がいきいきと働くためにはライフ(心身の健康、充実した生活)が基盤となる」との考えに基づき、ライフ・ワークバランスの実現に向けて取り組んでいます。 ・テレワークの導入、フレックスタイム勤務制の全社適用、仕事と育児・介護などの両立支援(育児休職制度・介護休職制度・社会貢献活動や家族の傷病時に利用できる「ライフ・サポート休暇」)を実現しています。								8.5 8.8									
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本 （必須）			・すべての人権が尊重される社会の実現に向けて、企業の社会的責任を果たすため「中部電力グループ人権基本方針」を掲げています。 ・ダイバーシティの推進を重要な課題と位置付け、2007年に「女性活躍推進室」を設置し、その後、2013年に「多様な人材活躍支援室」、2018年に「人材活躍支援グループ」、2020年に「採用・人材活躍支援グループ」、2022年に「ダイバーシティ推進グループ」へと組織を発展的に拡大し、多様な人材の能力を最大限に活かして、企業価値の向上につなげるよう各種施策に取り組んでいます。								8.7 8.8		10.2 10.3							
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本 （必須）			・事業に係る従業員や請負会社の方々の安全確保は、経営の最優先事項です。すべての労働災害を無くすために、従来より実施している社内での取り組みに加え、外部専門家の意見も取り入れ、経営陣が先頭に立った課題の洗い出しと解決を進めています。 ・交通安全については、外部専門機関と連携し、安全意識の醸成や運転技能の向上に向けた安全運転教育を実施しています。 ・作業安全については、災害リスク低減に向けたリスクアセスメントの確実な実施や安全性向上を念頭に置いた作業標準見直しに取り組んでいます。								3		8							
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本 （必須）			・重大疾病の早期予防・発見および健康意識の醸成を目的とした全従業員の人間ドック受診を実施しています。 ・産業保健スタッフによるきめ細やかな保健指導・保険相談を実施しています。 ・ストレスチェック結果の集団分析に基づく職場環境の改善などのメンタルヘルス対策を実施しています。																	

[illegible]

27	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ （任意）			・「中部電力グループCSR宣言」に基づき、「中部電力グループ調達基本方針」、「パートナーの皆さまへのお願い」を定め、中部電力グループとお取引先の皆さまとが、相互に信頼関係の醸成に努め、パートナーシップをより強固なものとするとともに、協同してサプライチェーン全体で、企業の社会的責任(CSR)を果たし、社会の持続可能な発展に貢献していきます。				5		8		10		12	13	14	15	16	17	
28	【パートナーシップ構築宣言】(R5. 9. 5～追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している ■パートナーシップ構築宣言サイト：https://www.biz-partnership.jp/	基本 （必須）		【予定】	「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表予定			3					8	9	10						17

項目番号		チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合こちらには理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																							
29	製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本 (必須)			・安価で高品質なエネルギーを安全かつ安定的にお客さまにお届けすることが、公益事業者としての中部電力グループの最大の責務であると考えています。そのために、グループの全従業員が持てる力を現場で最大限に発揮して、電力の安定供給に取り組んでいます。 ・お客さまに安全で安価な電気を安定してお届けするため、安全性の確保を前提に、供給の安定性、経済性、そして環境の保全の同時達成を目指し、原子力、火力、再生可能エネルギーなどの太陽光電源をバランスよく組み合わせた電源構成の確立に取り組んでいます。 ・発電所から変電所まで送電線により電気を運びます。変電所からは配電線によりお客さまに電気をお届けしています。 24時間365日、お客さまに良質な電気を安全・安価で安定的にお届けできるよう、電力ネットワーク全体を監視・コントロールしています。			3.9									12.4					
30		【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本 (必須)			・「良質な電気を安全・安価で安定的」にお届けするため、2018年度の一連の大規模災害を受けて取りまとめたアクションプランを確実に実施していくとともに、訓練を通じた対策の実効性を高め、電力インフラのレジリエンス(強靱性、回復力)の強化に努めていきます。 ・スマホアプリ「停電情報お知らせサービス」の提供を通じ、いち早くお客さまに停電情報および復旧状況をお知らせするとともに、チャットで電気設備に関する相談ができるなど、お客さまへの情報発信を強化しています。									9								
31		【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・「中部電力グループ環境基本方針」に基づき、低炭素社会の実現に向け、原子力発電の安全性向上対策、再生可能エネルギー(水力、陸上風力、バイオマスに加え、洋上風力や地熱等の新たな取り組みを含む)や高効率火力発電の開発(高経年火力を高効率で環境負荷の低い最新鋭火力へ計画的にリプレイスと燃料調達を含めた運用の最適化)などに取り組んでいます。							6				12	13	14	15			
32		【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・少子高齢化や人口の偏りが進み、人と人とのつながりが薄れていく「コミュニティの希薄化」という社会課題に対し、さまざまなつながりを生む「新しいコミュニティの形」を提供することで解決を目指します。 ・それらを実現するため、低炭素化、お客さま起点、デジタル化をキーワードとした「コミュニティサポートインフラ」を創造していきます。 ・コネクテッドホーム(明るさに応じた照明調整、エアコンの最適運転、宅内確認などが可能となり、高齢者の見守りをはじめ安心で快適な生活を提供していきます)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
33	社会貢献・地域貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本 (必須)			・エネルギー事業を取り巻く環境変化への対応を加速させるため、2021年3月に「中部電力グループ環境基本方針」を見直しました。 ・当社グループのあらゆる事業活動は、お客さまをはじめとした地域社会の皆さまから信頼に支えられていることから、地域社会の皆さまとの環境コミュニケーションを通じて信頼関係を一層深めるとともに、事業者としての説明責任の履行、適切な情報開示に努めていきます。				4				9		11	12		14	15		17	
34		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・「中部電力グループ社会貢献基本方針」に基づき、地域の安全・安心の確保、環境の保全、次世代教育、そして文化・スポーツ活動の4つを重点テーマとして、さまざまな活動に取り組んでいます。(例:地域への無償保安点検、記念日植樹券プレゼント、出前教室の実施、ラクビー部による高校生指導)				4						11			14	15		17	
35		【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用(地消地産、地産外商)している	チャレンジ (任意)			・コミュニティサポートインフラを創造し、それぞれのお客さまに適したエネルギーマネジメントや、お客さま同士のエネルギーシェアリングなどを普及・拡大させて省エネや電力の地産地消を図り、「脱炭素」社会の実現に貢献していきます。 ・エネルギー自給率の向上と温室効果ガスの削減に貢献するため、再生可能エネルギーの開発を積極的に進めています。中でも水力発電は、安定した発電電力量を期待できることから、引き続き一般水力や維持流量発電の開発に努めてまいります。また、既設水力発電所の設備改修による出力および発電電力量の向上についても計画的に進めてまいります。									8	9		11	12	13			

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）
- ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。
（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

- この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
- 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は黒字、 間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、赤字で番号を記載
- 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
 - ※1…組織の社会的責任に関する国際規格
 - ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定